

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 2 月 26 日

事業所名 放課後等デイサービス ういんぐきっず

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		基準以上のスペースを確保し、快適で安全に過ごせるように配慮しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		配置基準以上の職員配置をしています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		トイレ以外は段差がない構造になっています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝や会議で意見交換を行っています	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表を活用し、保護者様の意向を業務に反映させています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		苦情解決についての第三者委員を設置しています。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		適時、研修に参加しています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		職員で話し合い、アセスメントをする時間を確保しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		独自のアセスメントツールを使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員で話し合っ決めていきます。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しないよう、職員で相談して決めていきます。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休みには、必ず1回は出勤かけを取り入れています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子ども1人ひとりに合わせて作成しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に朝礼を行い、打ち合わせをしています。また、報告・連絡・相談ノートを作り、各職員が目を通すようにしています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	緊急性があるものは、業務終了後にしているが、基本的に支援開始前に打ち合わせをしています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳・業務日誌以外に報・連・相ノートや、個別のノートを活用し、検証・改善に取り組んでいます。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○				

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		対象児が利用していないため、今は未実施ですが、利用となれば、しっかりと連携をとっていきます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	必要であれば、行っています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	一部、児童発達支援事業所の方と情報共有を図っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		偶然、公園で一緒になる程度の交流で良い。特に必要ない。と考える保護者様が多い為、今後も現状維持。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		今後、日程や時間が合えば参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	連絡帳や送りの際に話をするようにしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	○	保護者様から相談があった時はすぐに対応しています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者様の意向もあり、父母会は行っていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		不定期に発信しています。今後、行事予定は早めにお知らせしていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	○	鍵付きの保管庫を利用しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	連絡帳やスケジュールボードを活用しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域に出ていくことに抵抗がある保護者様も居るため、現状維持。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		作成していますが、保護者様に周知出来ない為、早急に周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	公園から避難する。ういんぐきつから避難する。など、バージョンを変えて避難訓練しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	外部の研修に参加しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	該当者がおらず未実施。	今後、医療的配慮から身体拘束を行う必要がある時は、身体拘束の同意書を用意します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	アレルギーの対象児はいませんが、アトピー対応で、お菓子の希望はきいています。	今後、必要ならば医師の指示書に従った対応をしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ノートを作り、職員で共有しています。	